



印刷課 オペレーター  
上森 亮人 氏  
「オフセット印刷の再版ものもK-カラーシミュレーター2で色合わせができます。保守や操作も短時間で可能なことが多く、助かります」



板橋工場長  
田村 裕一 氏  
「書籍印刷では、特にインデックスを刷り、丁合で切ったときに見当ずれが全くないのに驚きました。本当にすごいことです」



常務取締役  
大澤 俊雄 氏  
「インプレミアIS29を使い、孫と娘のために母子手帳を絵本として表現しました。このようなBtoCの活用も促進しています」

にも変化が出てきている。「インプレミアIS29は、サンプルづくり、校正刷りに秀でています。商談時にサンプルを持っていくことで、案件を進化させていくことができます」と萬上社長は話す。

田村工場長は、出版印刷の観点から「インプレミアIS29の、両面ワンプラスで見当のズレが非常に少ないという特長は、書籍にとっても向いています」。さらに、「色が安定していて、細部の表現が良いため、写真印刷では特に鮮明に感じます。同じデータを扱った場合、

「使用される特色に近似したチャート表を出して、81色の中からお客様に指定してもらっています。お客様の欲しい色に近い色が見つけられ、特色ジョブを進める上で非常に良い機能です。初版をオフセットで印刷し、少部数・極小ロットの再刷をインプレミアIS29で刷るという提案も、お客様に受け入れられています」

以前はオフセット印刷機の機長を務めていた、インプレミアIS29のオペレーターの上森氏は、「印刷前準備や切り替え作業などの大がかりな設定が必要なく、画面一つでできるため、作業の効率化が図れています。印刷機に重

### 「81色チャート表」で顧客の欲しい色が見つけられる

オフセット印刷機よりも調整が少なく済みます」と手ごたえを語った。厚紙のジョブに対しても「従来は厚紙専用機でない印刷は、外注していた厚紙の案件も内製化でき、重宝しています。0.6ミリまで刷れるのはありがたいです」。また、インプレミアIS29は絵本をつくりたいという個人の夢の実現にも一役買っている。「知人が制作した絵本を20冊づくり、その方の10年越しの夢を叶えることができました。デザイナの中では、個人的に本をつくりたい需要が多くあり、今後は夢の実現に貢献していきたい」と、デジタル印刷の特性を十分に生かした活動へ向けた抱負を語った。

「つかみほん」の販売会を開催するなど、SDGsにも取り組む同社。萬上社長は「当社は初等教育、中等教育、教育系のコンテンツを商売してきました。今後も、絵本制作などを通じて、教育や文化という面で存在価値を高めていきたいと思っています」と語った。

無印良品と共に、製作過程でできる

### 教育や文化という面で存在価値を高めていく

今後、萬上社長は「本機の色の広さを活用し、クリエイターに作品のイメージを膨らませてもらい、新しい本づくりを進めていきたい」と話す。BtoCビジネスの拡大も見据え、すでにオリジナルのシール絵本サイト「Petako」を開発している。

戦略としては、デジタル印刷機の比重を徐々に高めていく計画だ。「絵本出版に関わる中で、コンテンツ・データを握る重要性を痛感しています。お客様の一番近い存在になることで、CS(顧客満足度)を高めていきたい。実力のある職人集団としてさらに成長するなど、根底の強化を基本戦略とし、奥付けに名前が載るような印刷会社を目指していきます」



「絵本のまち板橋」に貢献する同社のインプレミアIS29導入の注目度は高い。「工場見学のご要望が続いています。お客様にも、明るく前向きな話題を提供できました」(萬上社長)



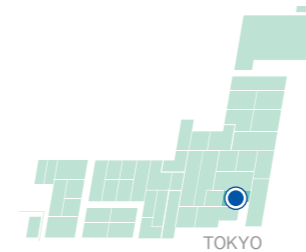
個人のオリジナル絵本の制作など、デジタル印刷の可能性を追求している。



美大生の卒業記念作品集を少数で制作した。「A3サイズはPODでも印刷でき、よくありますが、B3サイズができるのはインプレミアIS29ならではの需要が高まるのではないかと期待しています」(田村工場長)



インタビュー動画はこちら  
<https://go.komori.com/op219/youtube/keiyu-printing/>



本社 / 東京都板橋区大原町46-2  
<https://www.keiyu-printing.jp/>  
TEL / 03-3558-9311



代表取締役  
萬上 孝平 氏

「インプレミアIS29はオフセットの機長が驚くほどの印刷ができ、社内にインパクトを与えました」

## 恵友印刷株式会社 インプレミアIS29で菊半裁の特色ものを内製化 高品質・高発色、対応力を生かして存在価値を高めていく

恵友印刷株式会社は、1995年に東京飯田橋で創業。板橋に本社工場を構え、出版印刷を主力としている。板橋区は「絵本のまち板橋」を掲げており、同社も学術書や学習参考書、イタリヤ・ポロニーヤ関連の絵本など、教育系・アート系のコンテンツを多く手がけることで文化振興に寄与してきた。2022年8月にインプレミアIS29を導入し、デジタル印刷の大幅強化を図った。導入の背景や効果について、萬上孝平社長、常務取締役の大澤俊雄氏、板橋工場長の田村裕一氏、印刷課オペレーターの上森亮人氏にお聞きした。

量産体制強化が進み、オフセットの代替として耐えうるレベルになっていきます。そこでインプレミアIS29を導入し、菊半裁の特色ものを内製化する計画を立てました」

同社では、1日の印刷ジョブの約2割が特色だった。検討段階で、KOMORIが約1カ月のジョブ分析を行い、「ジョブをどの程度置き換えれば採算に乗るか」の具体的な提案があったのも安心材料でした」と、萬上社長は話す。さらにインプレミアIS29は「色域が広くて、彩度の高さに優れており、オフセットで表現できなかった色調も表現できる点に未

来を感じました。さらに、バージョニング印刷、バリアブル印刷などもデジタル印刷機ならではの武器でした」

材料や電力料の高騰が進み、価格転嫁を避けられない状況の中、損紙などのロスも少ない上に、印刷部数や用途によって、オフセット印刷機との最適な使い分けができるインプレミアIS29は、採算性にも優れている。

「データさえあれば数枚からすぐに印刷できる特性を生かして、営業の提案

